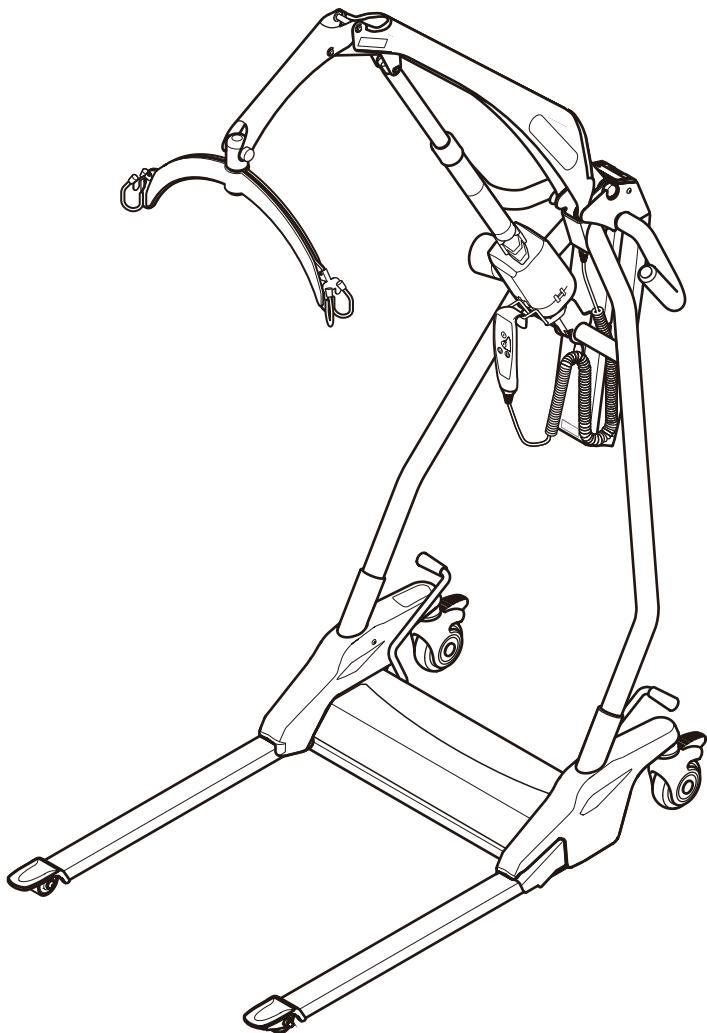


移動式リフト

型番 EL-580

取扱説明書



目次

まえがき	2
表示記号のご説明	2
移動式リフトEL-580	
について	3
使用目的	3
特長	3
各部の名称	4
ご使用になる前に	5
はじめに	5
安全上の注意	5
使用前点検	10
使用方法	11
充電器	11
ブレーキ	14
手元スイッチ・本体スイッチ	14
ベース開閉	16
アーム昇降	18
緊急停止と非常降下	20
旋回サポート	22
ハンガー	23
吊り具	24
日常のお手入れ	31
お手入れ方法	31
消耗品の名称	32
消耗品の交換時期	32
トラブルシューティング	33
バッテリー・充電器	33
リフト	34
ご使用期間とアフターサービスについて	36
ご使用期間について	36
修理を依頼されるときは	37
仕様	38
保証書	

この度は本製品をお買上げいただきありがとうございます。

正しく安全にご使用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

なお、この取扱説明書には、保証書が付いております。

取扱説明書の内容、および保証書の内容がいつでも確認できるよう、大切に保管してください。

まえがき

本製品を安全にご使用いただくには、正しい操作と定期的なメンテナンスが必要です。

本書をよくお読みになり、十分にご理解のうえご使用ください。

本製品は、日本国内専用の仕様となっており、日本国外では使用できません。したがって、万が一、本製品を日本国外で使用された場合、本製品の故障および本製品の使用に伴って発生した損害に対して、弊社はその責任を負いません。

また、本書で説明している操作方法および安全に関する注意事項は、本製品を指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。本書で説明していない使用方法は、しないでください。

仕様の変更により、本書の内容の中に、お買い上げの製品と詳細において異なる場合があります。お買い上げの製品または本書の内容につきましてご質問がございましたら、ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。

表示記号のご説明

本製品および本書には、使用者および他の人への危害や損害を防ぐため、安全上の注意を次の表示と記号を使って説明しています。表示と記号の意味を十分にご理解のうえ、安全上の注意を必ずお守りください。

●表示の意味

△ 危険…誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが予想される内容を説明しています。

△ 警告…誤った取扱いをすると、人が重傷を負う可能性が予想される内容を説明しています。

△ 注意…誤った取扱いをすると、思わぬケガおよび本製品の故障につながる可能性が予想される内容を説明しています。

注意… 本製品の故障を防ぐための注意事項や、より快適にご使用いただくためのアドバイスなどの内容を説明しています。

●記号の意味

ⓧ 禁止することを説明しています。

△ 注意することを説明しています。

● 要請することを説明しています。

移動式リフト E L – 580について

使用目的

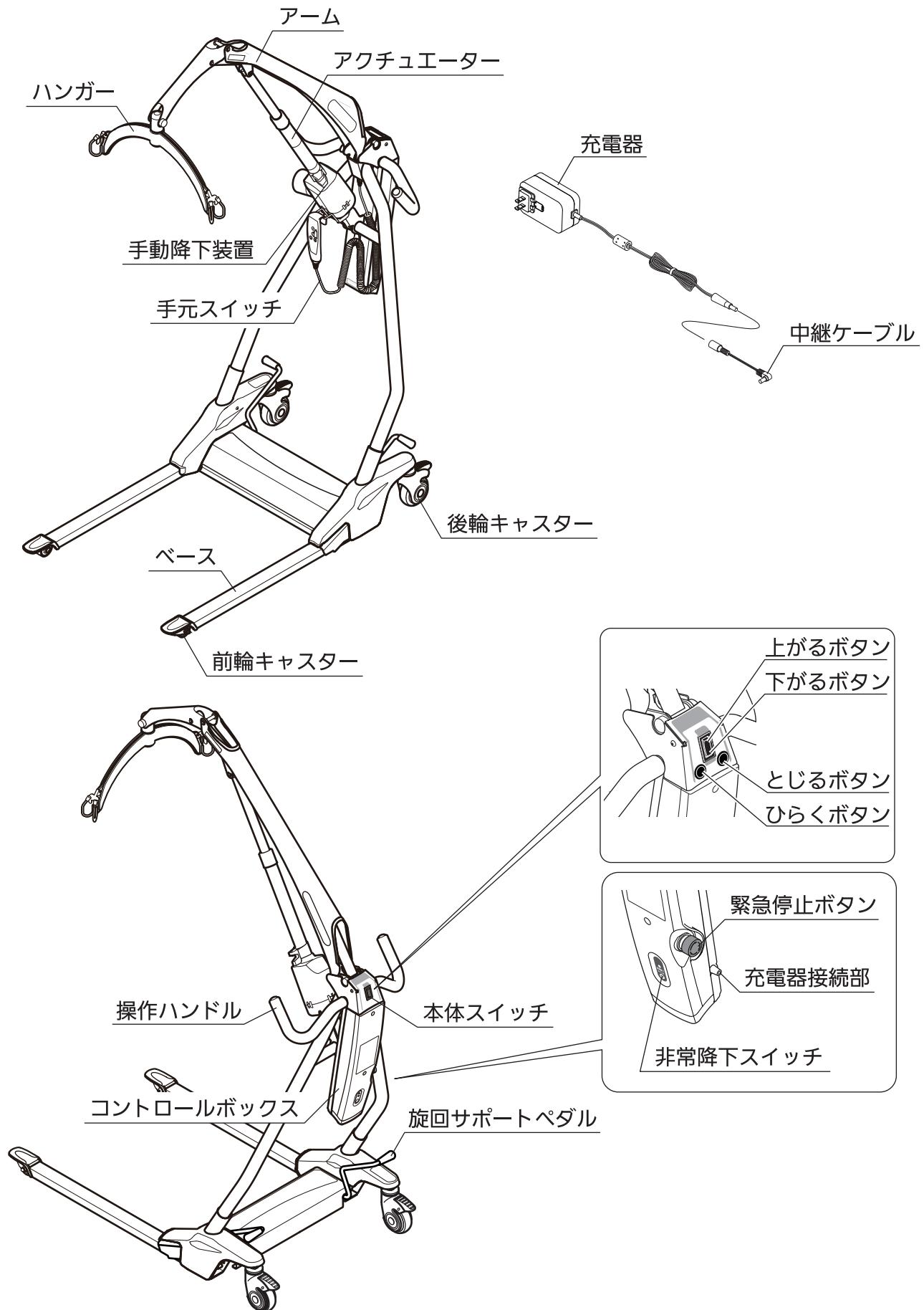
ベッドから車椅子やポータブルトイレなどへの移乗介助を補助し、介護者の負担を軽減する移動式リフトです。

特長

- ・アーム昇降とベース開閉は電動で動作します。
- ・吊上げのときに、ご利用者の足元にあるフレームが大きく開いているため、足が当たらず、安心してご使用いただけます。
- ・アーム昇降はリンク方式を採用し、昇降時のハンガーの位置ずれを低減したため、乗換え時にご利用者の位置がずれません。
- ・緊急停止ボタン、非常降下スイッチを装備しています。
- ・アームははさみ込み防止機能付です。
- ・ホルダーを設けた手元スイッチに加え、支柱後方に本体スイッチを搭載しました。いつでも介護者の手が届くところに昇降・開閉スイッチがあり、効率よく介助できます。
- ・取回ししやすくするために、旋回サポート機能（旋回軸になる車輪をベース中央に設定）を搭載しました。方向転換の支点ができるため、省スペースで楽に旋回できます。
- ・ハンガーフックには吊り具用の抜止め装置がついています。

移動式リフト E L - 580 について

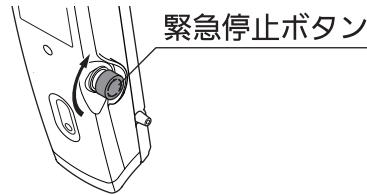
各部の名称



ご使用になる前に

はじめに

納入時は緊急停止ボタンが押込まれています。矢印の方向に回して、解除してから使用してください。



注意

!	<p>初めて使用する場合や、長期間使用しなかった場合は必ず充電してください。</p> <p>…本製品は、ご使用にならなくても、少しずつ電力を消費します。残量が少ない状態が続くと、バッテリーの寿命は短くなります。本製品を2週間以上使用しないで保管するときは、充電完了後、緊急停止ボタンを押した状態で、風通しの良い涼しい場所に保管すると、バッテリーが劣化しにくくなります。</p> <p>また、緊急停止ボタンを押して保管する場合も自己放電によって徐々にその容量を失っていきますので、充電しないと性能が出ない原因になることがあります。充電なしで保管できる期間と温度の関係は次の通りです。</p> <table><tr><td>気温</td><td>20°C未満</td><td>10ヶ月</td></tr><tr><td></td><td>20~30°C</td><td>6ヶ月</td></tr><tr><td></td><td>30~40°C</td><td>2.5ヶ月</td></tr></table>	気温	20°C未満	10ヶ月		20~30°C	6ヶ月		30~40°C	2.5ヶ月
気温	20°C未満	10ヶ月								
	20~30°C	6ヶ月								
	30~40°C	2.5ヶ月								

安全上の注意

次の内容および本製品に表示された安全上の注意を必ずお守りください。
これら安全上の注意以外であっても、無理な使用はしないでください。

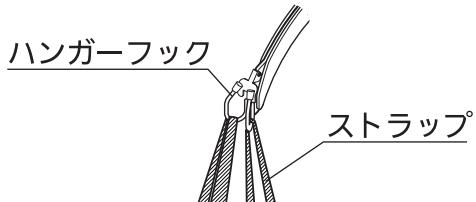
●安全上の注意

⚠ 危険

🚫	本製品の最大持上げ質量は120kgです。120kgを超える方には使用しないでください。
!	本製品は1人用です。必ず1人の方にご使用ください。
!	本製品に修理が必要な場合は使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。
🚫	本製品の改造はしないでください。改造が必要な場合は、ご購入先または弊社各営業所までお問合せください。 …事故や故障の原因になります。
🚫	小さなお子様や取扱説明書の内容が十分ご理解ができないと思われる方には操作させないでください。また、いたずらや本製品の目的以外での使用はしないでください。

ご使用になる前に

	本体に貼付けてあるシールの内容は安全上、および本製品を正しくご使用いただくために非常に重要ですので必ずお守りください。
	傾斜地では使用しないでください。 …傾きによりバランスを崩し、転倒する恐れがあります。
	吊り具の各ストラップが、ハンガーフック部に正しく確実にかかっているか確認してください。 …落下やケガの原因になります。



⚠ 警告

	本体を移動するときは、床面の溝などにキャスターが脱輪しないよう注意してください。
	介護者がご利用者の状態を変化させる場合には、ご利用者の様子を見ながらゆっくりと操作してください。少しでもご利用者に異常が見られたときは直ちに操作を中止してください。
	ご利用者を吊上げ、吊下ろしをするときは、本体のベースを開いてから行ってください。 …本体が不安定になり、転倒してケガをする恐れがあります。
	床から吊上げ、吊下ろしをするときは、ご利用者の頭が本体側に向くようにし、ご利用者の頭を支えてください。 …本体は昇降中、前後に動くことがあります。そのため、ご利用者の頭が本体に当たり、ケガをする恐れがあります。
	ご利用者を吊上げたまま本体から離れないでください。
	ご利用者を吊上げて移動するときは、必要以上に高く吊上げないでください。 …バランスを崩し、転倒する恐れがあります。
	横方向に移動する際は、十分注意してください。 …バランスを崩し、転倒する恐れがあります。
	アーム、アクチュエーター、ベースなど可動部のすきまで手をはさまないように注意してください。
	アームには、はさみ込み防止機能がありますが、アームが干渉した場合は直ちに下降する動作を中止してください。
	ご利用者を吊上げた状態で段差の乗越えはしないでください。

ご使用になる前に

	アクチュエーターを持って移動させないでください。 また、アクチュエーターに横方向から力を加えたり、 回したり、ご利用者を当てたりしないでください。 …シャフト部の曲がりや破損の原因になります。	<u>伸縮部分（グリス塗布）</u> シャフト アクチュエーター
	アクチュエーターのシャフト部の伸縮部分にはグリス が塗布されています。手や衣類が触れないように注意 してください。 …グリスが付着して汚れる恐れがあります。	
	充電器のケーブル、中継ケーブル、手元スイッチのケーブル、アクチュエーターのケーブルは、無理な折曲げや引っぱり、はさみ込みなどがないようにしてください。 …故障、感電、漏電による火災の恐れがあります。	
	手元スイッチ、本体スイッチは必要以上に操作しないでください。 …電気系統の故障、劣化、誤作動による事故の原因になります。	
	電源ケーブルの抜差しは、電源プラグを持って行ってください。 …故障する恐れがあります。	
	ぬれた手で電源プラグを抜差ししないでください。 …感電事故の原因になります。	
	充電器の電源は家庭用AC100V専用です。他の電源には接続しないでください。 …故障、火災、事故の原因になります。	
	コントロールボックスには、他の機器やACコードなどを接続しないでください。 …故障、火災、事故の原因になります。	
	充電器は本製品専用です。他の機器には接続しないでください。 …故障、火災、事故の原因になります。	

⚠ 注意

	本製品を移動させるときは、周囲の安全を確認してから操作してください。特に移動中などはご利用者の足元にご注意ください。
	本製品は防水構造ではありません。浴室など水がかかる場所や、湿度の高い場所では使用しないでください。雨にさらされる屋外での使用も避けてください。また、水洗いはしないでください。 …故障、誤動作、火災、錆の原因になります。
	ハンガーはご利用者の顔のすぐ近くにあります。操作時にぶつけないよう十分注意してください。
	ベッドを昇降するときはハンガーの引っかかりに注意してください。
	畳やじゅうたんなどの上で本体を操作するときは、動かしにくいので乗換えを行う場合には車椅子などの動かしやすい機器を動かすようにしてください。
	畳やじゅうたんの上でベースの開閉はしないでください。 …畳やじゅうたんを傷つける恐れがあります。状況により、フローリングに変える、タイルカーペットを敷くなどしてご使用ください。
	ベース部と床の間で足をはさまないようにしてください。
	本体を使用するとき以外はブレーキをかけておいてください。
	無垢材の床に本製品を保管するときは、マットなどを敷いてキャスターが床に直接触れないようにしてください。 …床の材質によっては、数時間同じ場所に置くと、キャスターが床にシミをつける恐れがあります。
	2分以上連続してアームの昇降、ベースの開閉をしないでください。 …アクチュエーターの最長連続使用時間は2分未満です。2分以上連続して使用すると、電装品が故障する恐れがあります。
	高熱を発するものの近くには置かないでください。 …異常過熱による故障、火傷、火災の原因になります。
	手元スイッチ、充電器は、落としたりぶつけたりなど乱暴に扱わないでください。 …故障、誤動作の原因になります。
	直射日光の当たる所に放置しないでください。 …長時間直射日光が当たると製品劣化の原因になります。
	コントロールボックスの充電器接続部の穴に、異物を詰込んだり指を差込まないでください。 …故障、ケガ、爆発の原因になります。

ご使用になる前に

	長期間ご使用にならないとき、停電、雷、地震の場合には、必ず充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
	異常に気がついたら直ちに使用を中止してください。 …そのまま使用すると事故の原因になります。
	周囲温度 5～40°C の範囲でご使用ください。特に高温の場所での使用や充電、保管はしないでください。
	各ケーブルにひび割れ、キズなどがないか確認してください。ひび割れやキズなどがある場合は使用を中止してください。 …感電、発火、誤動作の原因になります。
	ベースの開閉部には乗らないでください。 …キャスターの破損、転倒などの事故の原因になります。
	使用しないときはアクチュエーターのシャフト部の保護のため、最低位にすることをおすすめします。
	非常時のみ、手動降下装置を利用してください。通常は利用しないでください。 …故障の原因になります。
	静電気を帯びた状態で操作を行うと電子部品が故障する恐れがあります。特に冬場などには、ドアノブなどの金属に触れるなどして静電気を取除いてから操作してください。

ご使用になる前に

使用前点検

ご使用前に、毎回必ず使用前点検し、項目をすべてクリアした場合に限りご使用ください。
ひとつでもクリアできない項目があった場合は使用を中止し、対処方法に従ってください。

使用前点検項目

ブレーキはかかりますか。
(かかりないとき→NO)

手元スイッチのケーブル、アクチュエーターの
ケーブルに劣化によるひび割れ、キズは
ありませんか。
(ひび割れ、キズがあるとき→NO)

アームの昇降、ベースの開閉はできますか。
(できないとき→NO)

アームの昇降、ベースの開閉時に
「ピー」とブザー音は鳴っていませんか。
(「ピー」とブザー音が鳴っているとき→NO)

アームの昇降、ベースの開閉時に
「ピー・ピー」とブザー音は鳴っていませんか。
(「ピー・ピー」とブザー音が鳴っているとき→NO)

操作中、
気になるがたつきはありませんか。
(あるとき→NO)

操作中、気になる音はしませんか。
(音がするとき→NO)

消耗品は大丈夫ですか。
(本書32ページ参照)
(交換時期になっているとき→NO)

対処方法

NO

使用を中止し、ご購入先または
弊社各営業所までご連絡ください。

NO

充電してからご使用ください。

NO

使用を中止し、ご購入先または
弊社各営業所までご連絡ください。

△ 注意



使用前点検項目以外でも、おかしいと感じたり、今までと違うような気がした場合は
使用せず、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。お客様の判断で本書で
説明していない内容の対処はしないでください。

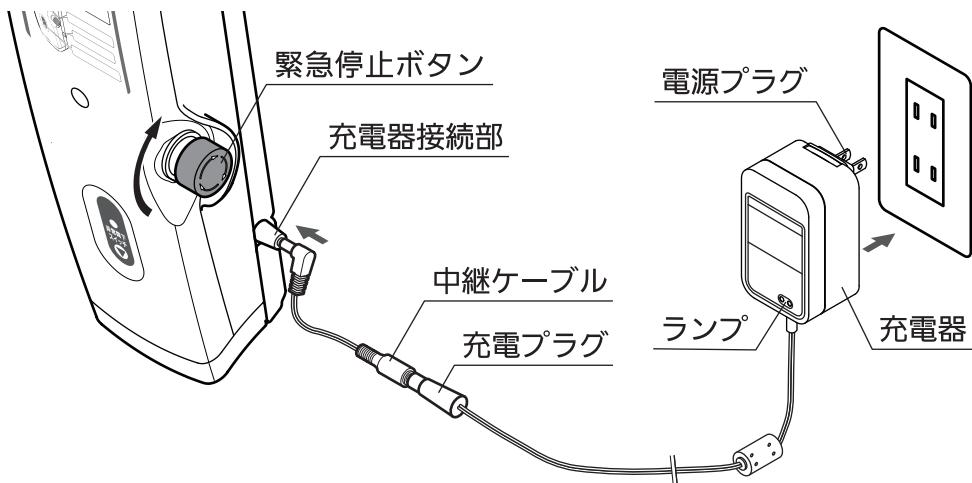
使用方法

充電器

充電器の充電プラグは中継ケーブルに差込んでつないでおいてください。

充電するときは緊急停止ボタンを矢印の方向に回し、解除してから充電してください。

中継ケーブルを充電器接続部に奥まで確実に差込んでから、電源プラグを家庭用 AC 100V コンセントに差込んでください。



充電状況は充電器のランプで確認してください。

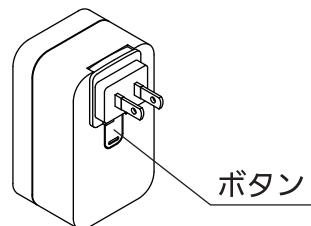
電源プラグをコンセントに差込み充電器に電源が入ると「緑」のランプが点灯します。

充電中は「黄」のランプが点灯し、充電が完了すれば「黄」のランプは消灯します。

充電が完了したら、コンセントから電源プラグを抜いた後に、充電器接続部から中継ケーブルを抜いてください。(充電器の充電プラグと中継ケーブルは常に差込んだまま使用します。充電プラグと中継ケーブルは破損防止のため引っぱると抜けるようになっています。)

⚠ 注意

	<p>本製品を移動させるときは、電源プラグを抜いた後に中継ケーブルを抜いて移動させてください。 …無理な負荷がかかると、電気系統の故障・劣化の原因になります。</p>
	<p>充電器中央部のボタンを押さないでください。 …部品が外れ故障の原因になります。</p>



使用方法

注意

	充電中は昇降・開閉動作ができません。故障ではありませんのでご注意ください。
	本製品使用後は、毎回充電してください。 …バッテリー残量の少ない状態で放置すると、バッテリーの寿命が短くなります。
	中継ケーブルや充電器は真っ直ぐ抜差してください。 …横や斜め方向に抜差しすると、接続部が破損する恐れがあります。

●充電器の安全上の注意

⚠ 注意

	充電器は風通しの良い場所でご使用ください。浴室など水がかかる場所や、湿度の高い場所、密閉容器内などでは使用しないでください。 …漏電、感電、故障の原因になります。
---	--

⚠ 危険

	充電器は、本製品付属のバッテリー以外の充電には使用しないでください。 …発火、爆発、故障の原因になります。
	充電器の電源は家庭用A C 1 0 0 Vです。 …他の電源を使用した場合、発火、故障の原因になります。
	分解しないでください。 …発火、爆発、故障の原因になります。

⚠ 注意

	充電器は、落としたり、衝撃を与えないでください。 …ケガ、感電、発火、故障の原因になります。
	電源ケーブルに劣化によるひび割れ、キズなどがないか定期的に確認してください。 …感電、発火、故障の原因になります。
	充電器の放熱を妨げるような使用はしないでください。

注意

	充電器は、室温 5～4 0 °C の範囲で使用してください。
---	--------------------------------

使用方法

●バッテリー異常時の処置

△ 危険

	バッテリーは、内部に劇物の希硫酸を保有しています。バッテリーが液漏れして液が皮膚、衣類に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。また、液が目に入ったときは、直ちに大量の水で洗った後、医師の治療を受けてください。 …失明、やけどの原因になります。
---	---

△ 警告

	ご使用中に異臭、異音を感じたら直ちに使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。 …発火、爆発の原因になります。
	充電中に異臭を感じたら直ちに充電を中止し、換気のうえ、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。 …バッテリーの発火、爆発、人体に危害を与える原因になります。

△ 注意

	バッテリーの液漏れなどの現象に気がついたときは使用せず、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。
---	---

使用方法

ブレーキ

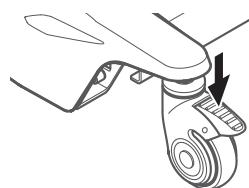
●ブレーキをかける

後輪キャスターのブレーキレバーの外側を踏込むとブレーキがかかります。

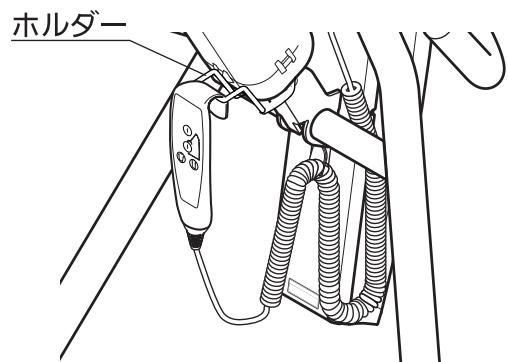
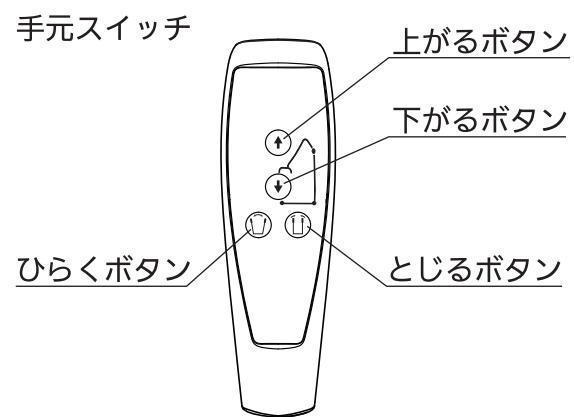
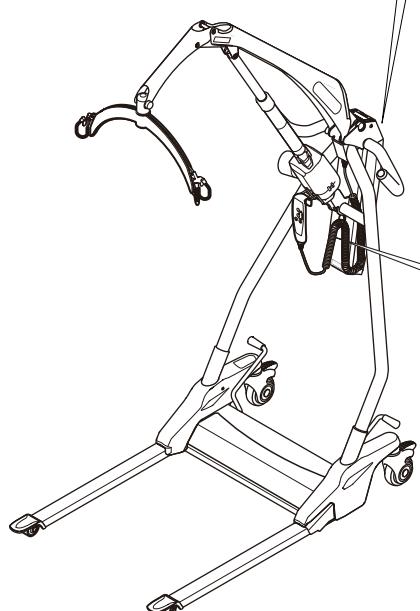
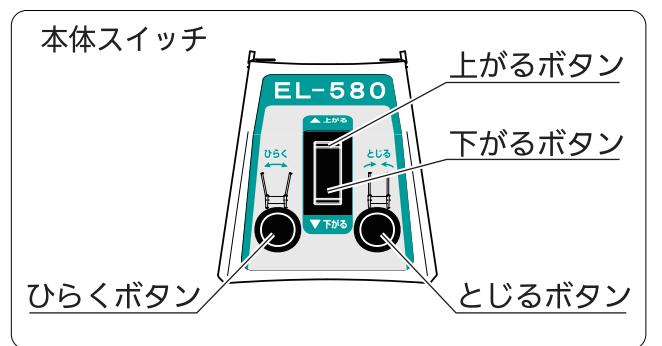


●ブレーキを解除する

後輪キャスターのブレーキレバーの内側を踏込むとブレーキが解除されます。



手元スイッチ・本体スイッチ



手元スイッチはホルダーにかけてください。
…次の介助動作を効率よく行えます。

使用方法

⚠ 危険



手元スイッチはご利用者に操作させないでください。

⚠ 注意



手元スイッチのケーブルは無理な折曲げや引っぱり、はさみ込みがないようにしてください。特にケーブルを伸ばす場合、手元スイッチ根元部分が急角度になるような伸ばし方はしないでください。

…故障の原因になります。

ケーブルの伸ばし方



2分以上連続して使用しないでください。2分使用した場合は、復旧まで18分休止してください。

…2分以上連続して使用すると、電装品が故障する恐れがあります。

注意



手元スイッチ、本体スイッチを必要以上に操作しないでください。

…電気系統の故障、劣化、誤作動による事故の原因になります。



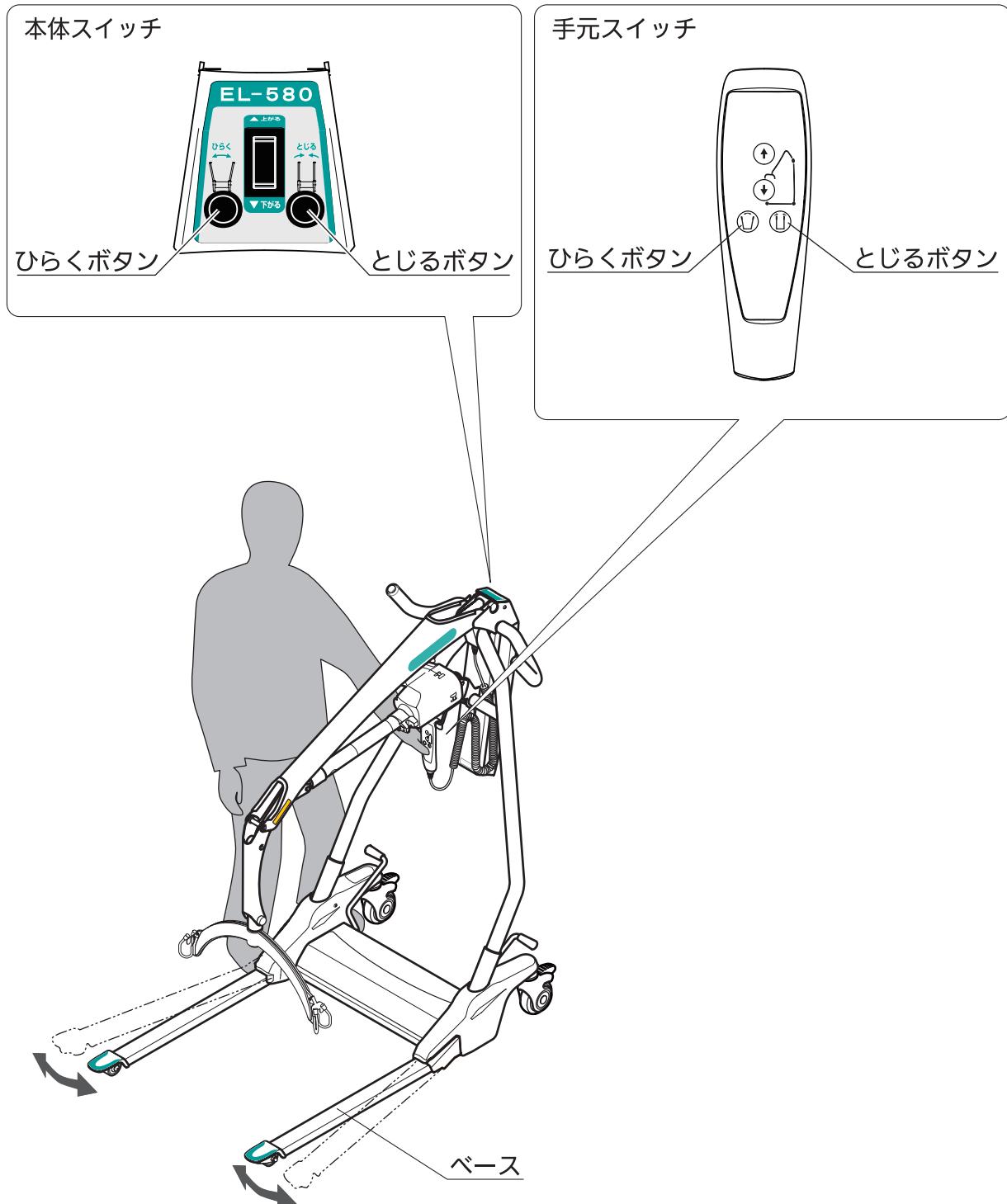
複数のボタン操作を同時にしないでください。

…電気系統の故障、劣化、誤作動による事故の原因になります。

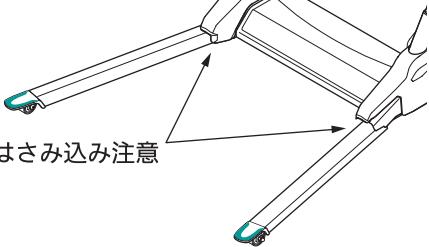
使用方法

ベース開閉

手元スイッチ、本体スイッチのひらくボタン、とじるボタンを押すと、ベースが開閉します。
ボタンを押している間だけ作動します。



⚠ 注意

	ベースを開閉させると、ご利用者の手足の はさみ込み、物のはさみ込みに注意してく ださい。	 はさみ込み注意
---	--	---

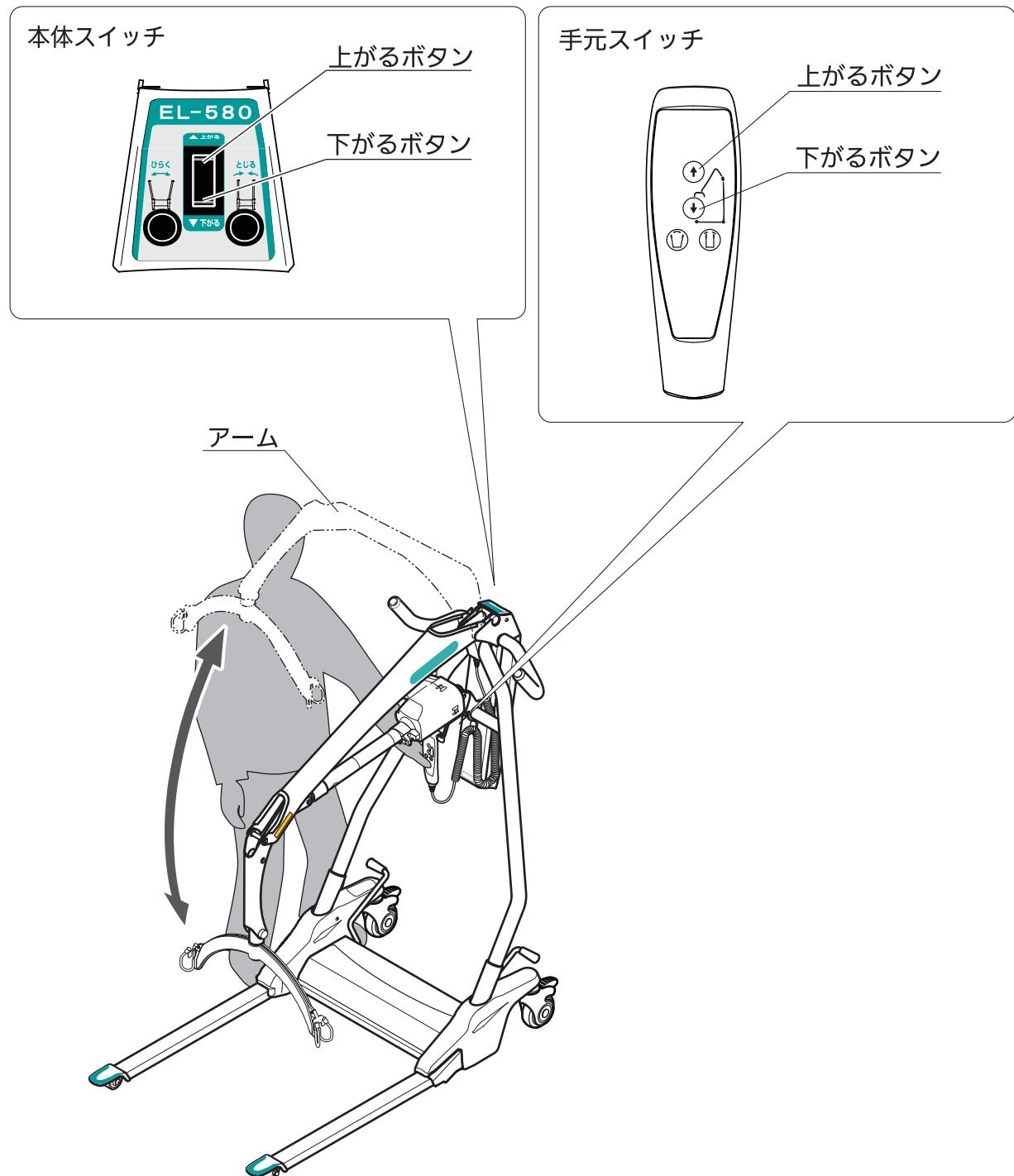
注意

	フローリングでご使用の際に最大持上げ質量 120kg 以下で使用していて、ベース に何も接触していないにもかかわらず、開閉中に「ピー・ピー」とブザー音が鳴った ときは、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。
	ご利用者を吊上げた状態でベースの開閉はしないでください。 …異音の原因になります。
	畳やじゅうたんの上でベースの開閉はしないでください。 …畳やじゅうたんを傷つける恐れがあります。状況により、フローリングに換える、タイルカーペット を敷くなどしてご使用ください。

使用方法

アーム昇降

手元スイッチ、本体スイッチの上がるボタン、下がるボタンを押すと、アームが昇降します。ボタンを押している間だけ作動します。



使用方法

●はさみ込み防止機能

下がるボタンを押しているときでも、アームに下から力が加わると下降は止まります。これは安全機能によるもので、故障ではありません。

△ 注意

	ご利用者を吊上げ、吊下ろしをするときは、本体のベースを最大まで開いてから行ってください。 …本体が不安定になり、転倒してケガをする恐れがあります。
	アームを昇降するときは、ご利用者の転落、転倒、手足（身体）のはさみ込み、物のはさみ込みに十分注意してください。

注意

	昇降中に「ピー」とブザー音が鳴ったときは、直ちに充電してください。
	最大持上げ質量 120kg 以下で使用しているにもかかわらず、昇降中に「ピー・ピー」とブザー音が鳴ったときは、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。

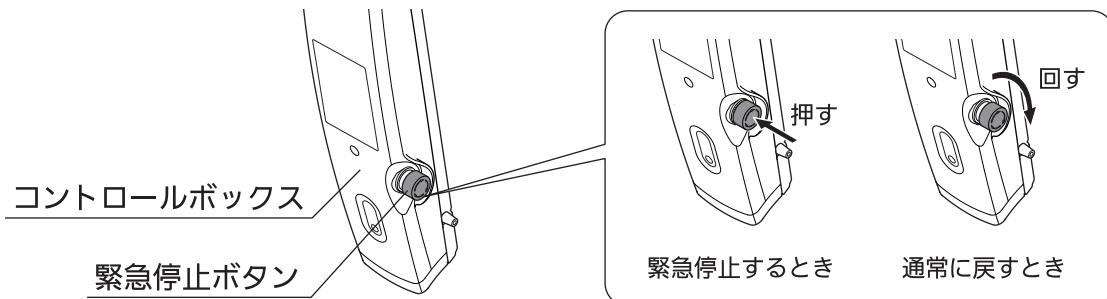
使用方法

緊急停止と非常降下

●緊急停止ボタン

緊急停止するときは、コントロールボックスの緊急停止ボタンを押込んでください。アームの昇降動作、ベースの開閉動作が止まります。

緊急停止ボタンは矢印の方向に回すと解除されます。



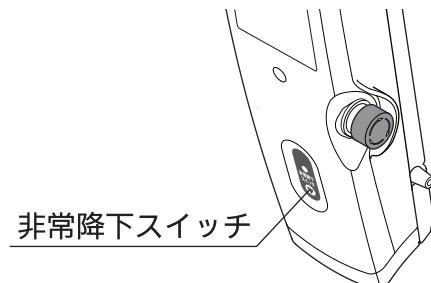
注意



長期間（2週間以上）使用しないときは、充電完了後、緊急停止ボタンを押してください。
…バッテリーの劣化を防ぎます。

●非常降下スイッチ

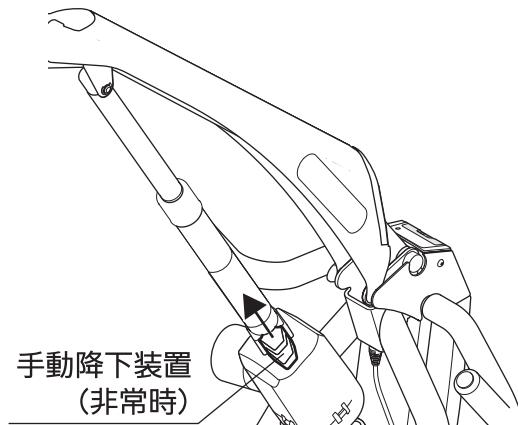
故障などにより手元スイッチ、本体スイッチを操作しても動かない場合に、非常降下スイッチでアームを下降させることができます。



使用方法

●手動降下装置（非常時）

充電切れや、スイッチの故障などのときは、アクチュエーターの赤いレバーを矢印の方向に引くことでアクチュエーター内部のブレーキ機構を徐々に解除し、アームを降下させることができます。



使用するときは、赤いレバーをゆっくり少しづつ引いてください。赤いレバーの引き具合はアーム降下速度を確認しながら調整してください。降下速度が速すぎる場合は赤いレバーから一旦手を離して降下を中断し、再度引き直してください。赤いレバーを引いている間、吊上げたご利用者を降下させることができます。

ご利用者を吊上げていない場合などでアームに荷重がかかっていない状態では手動降下装置は作動しません。

△ 危険

	非常時以外は使用しないでください。
	手動降下装置を使用するときは、赤いレバーをゆっくり少しづつ引いてください。 …赤いレバーを一気に引くとアームの降下速度が速くなり危険です。
	手動降下装置を使用するときは、ご利用者をやわらかいもの（ベッド、車いすなど）の上に降ろしてください。 …万が一、急降下した際の安全確保のためです。

△ 注意

	手足（身体）のはさみ込みに十分注意してください。
--	--------------------------

使用方法

旋回サポート

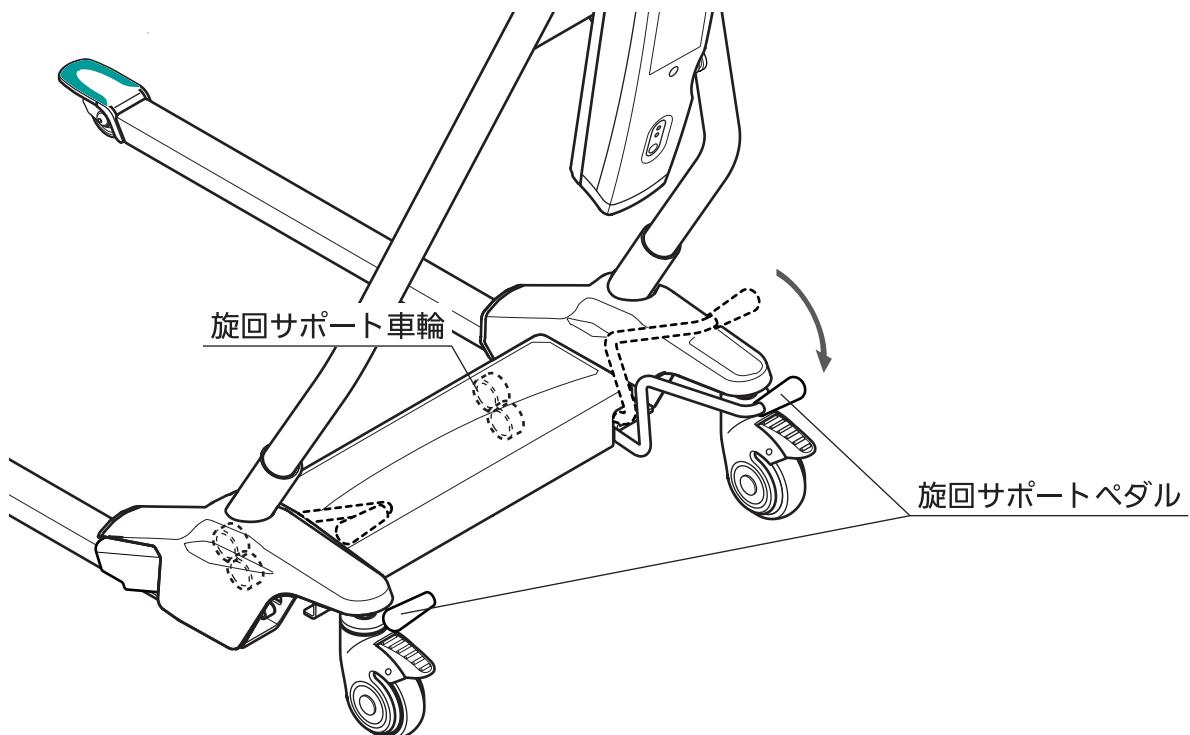
狭い場所でのリフト使用など、旋回サポートを使用すると方向転換を楽に行うことができます。ご利用者を吊上げる前後のどちらでも操作できます。

●旋回状態

旋回サポートペダルを足で踏込むと、ベース中央にある車輪が床と接地し、方向転換の支点になります。

●走行状態

旋回サポートペダルを足で跳上げると、ベース中央にある車輪が床から離れます。



△ 注意

	旋回状態では、横スライド移動はしないでください。 …事故、故障の原因になります。
	旋回サポートペダルの上に乗ったり、必要以上に強く操作しないでください。 …事故、故障の原因になります。

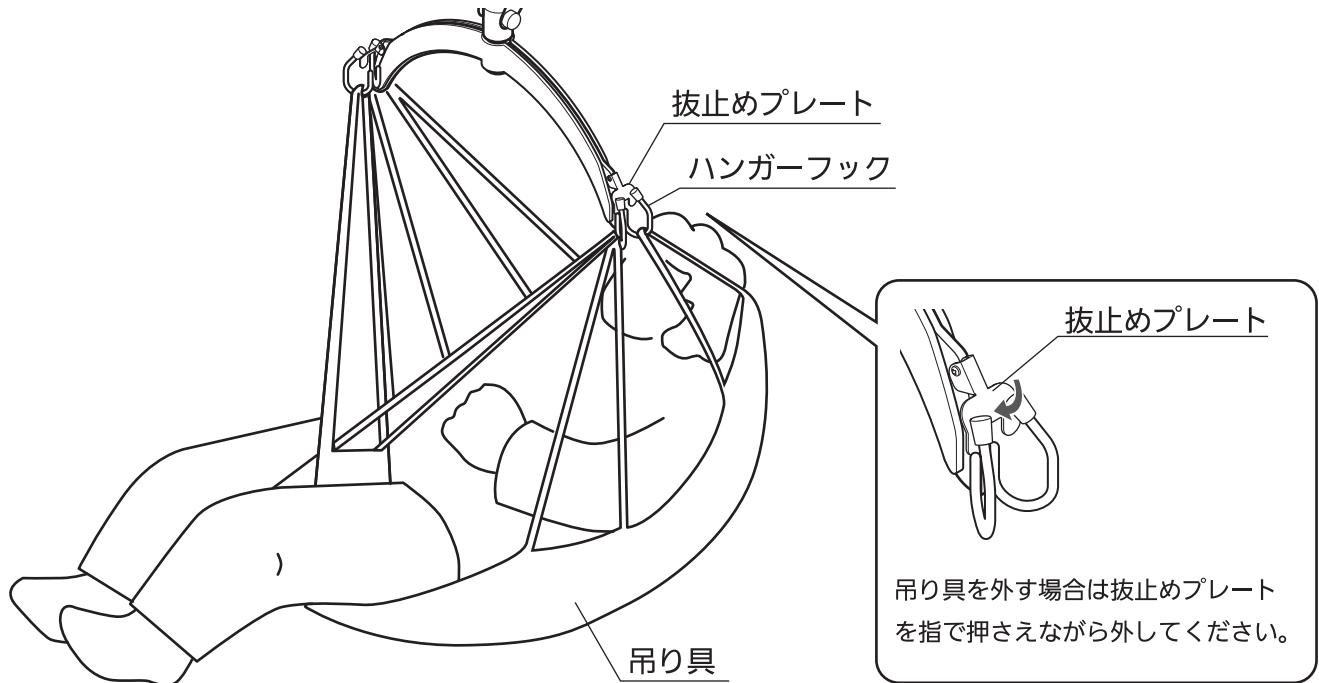
注意

	長時間、旋回サポートを旋回状態にしていると、旋回サポート車輪が変形します。 使用しないときは旋回サポートを走行状態にしてください。
--	--

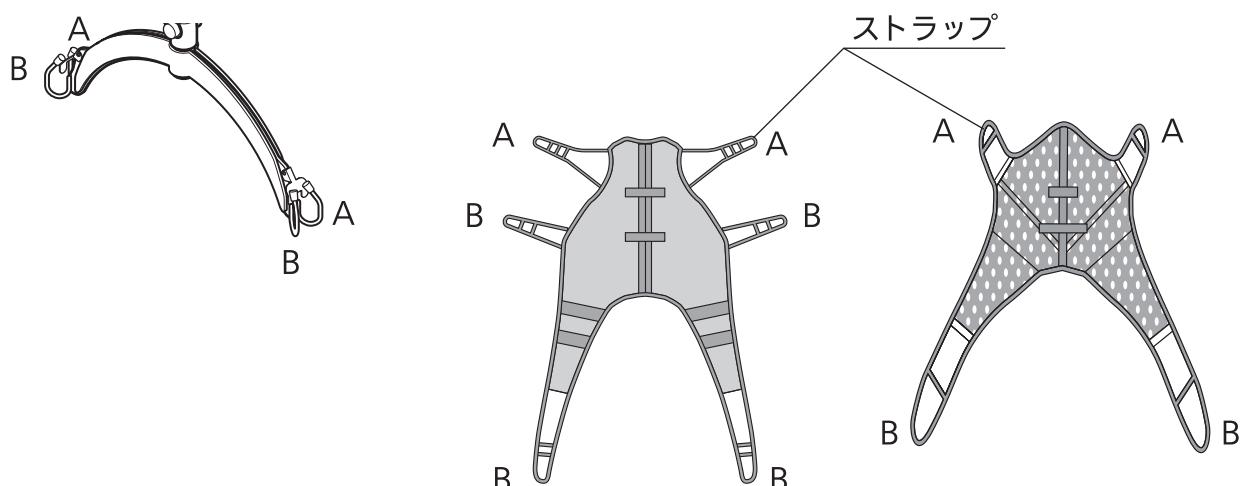
使用方法

ハンガー

ハンガーフック部には吊り具用の抜止め装置がついています。吊り具を取外すときは、下図のよう^に抜止めプレートを指で押さえながら外してください。



●ストラップの位置



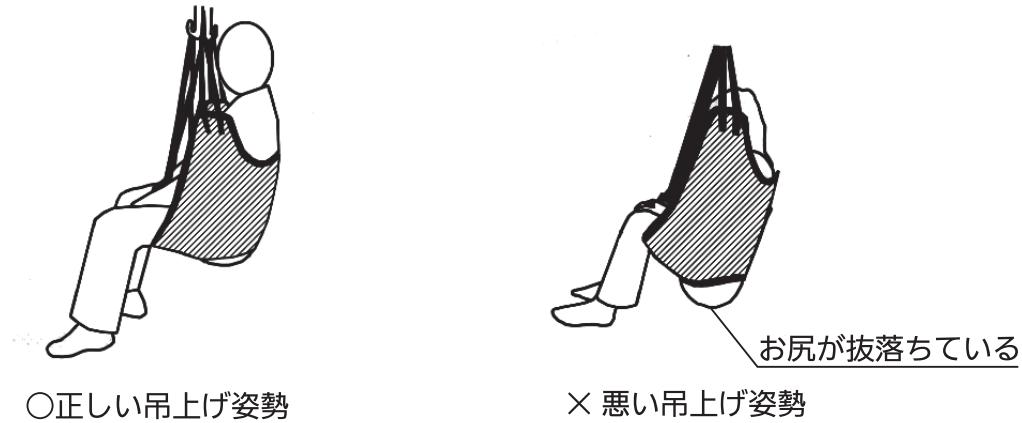
△ 注意



ハンガーやアームをご利用者にぶつけないようにしてください。

吊り具

● 基本的な吊り姿勢



- 吊上げたときの姿勢は、身体を立てた方が安全で快適です。また、車椅子の着座時にも便利です。

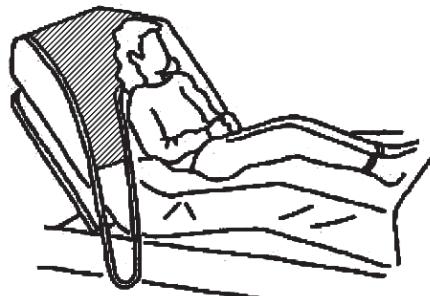
※ストラップの吊り位置を変えることにより姿勢を調節できます。ご利用者の身体状況により調節してください。

使用方法

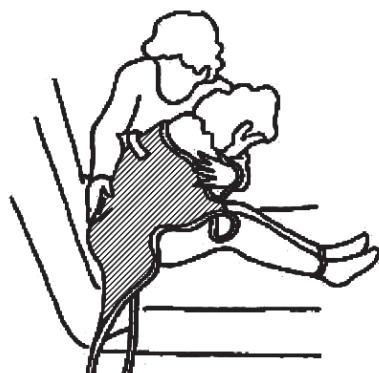
●吊り具の装着

(a) 背上げ機能のあるベッドや車椅子の場合

①吊り具を広げ、頭と背中の間におきます。



②上半身を前傾させ、片手で支えながら、片手で吊り具を背中に差込みます。お尻とベッドのマットレスの間に深く差込んでください。また、吊り具の中央が背中の中央になるようにしてください。



③脚部を持ち、脚ストラップを太ももの下に通し、股の間から出します。（両側とも同様）ストラップの内側を引くことにより、お尻をしっかりとカバーすることができます。



△ 注意



左右の脚ストラップの長さが同じであることを確認してください。

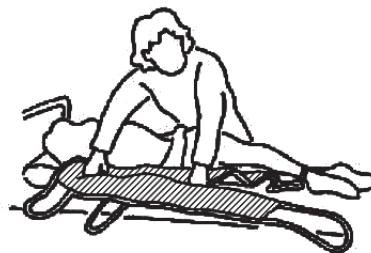
使用方法

(b) 平らなベッドの場合

※座位の取れる方は（a）と同様の手順で装着します。

- ①ご利用者を横向きにして、背中側に吊り具を広げます。吊り具の向こう側はきれいに広げ、手前側は身体の下を通しますので適宜丸めておきます。吊り具の位置は、お尻の部分が合うように置いてください。また、脚ストラップが脚側で、取っ手のない面が身体側となっているか確認してください。
- ②ご利用者を反対側に寝返りさせ、吊り具の手前側半分を広げます。吊り具の中央が背中の中央になるようにしてください。

- ③脚ストラップを太ももの下を通して、股の間から出します。（両側とも同様）ストラップの内側を引くことにより、お尻をしっかりとカバーすることができます。



⚠ 注意



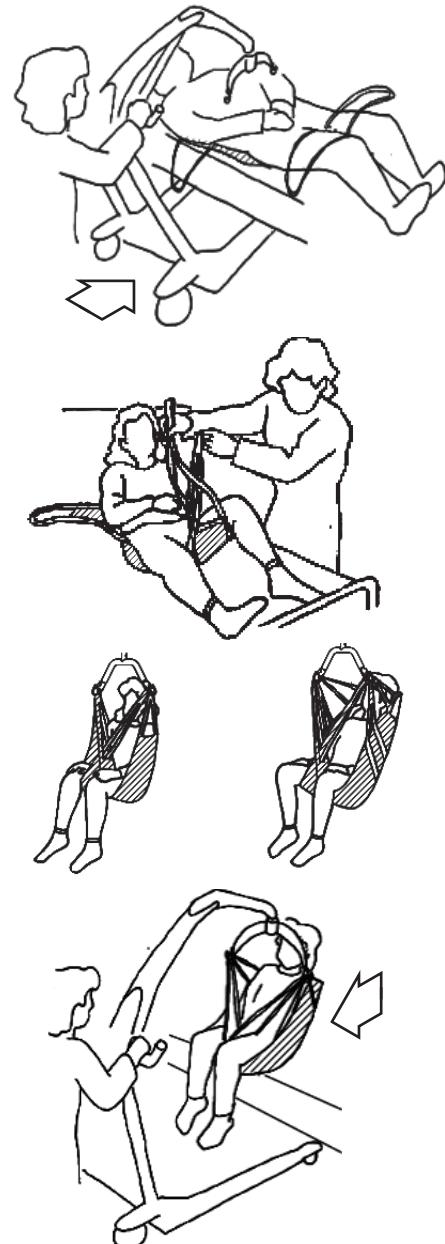
左右の脚ストラップの長さが同じであることを確認してください。

使用方法

●吊り具の吊上げ方

ベッドの下には本体のベースが入り込みます。あらかじめベッドの下の荷物を邪魔にならないように片付けてください。

- ①ブレーキを解除します。
- ②操作ハンドルをにぎり、本体のベースをベッドの下に差入れ、ハンガーが胸の中央部にくるようにします。
- ③手元スイッチの下がるボタンを押し、ハンガーをストラップがかけられる高さまで下げます。
- ④一方の脚ストラップを他方のストラップの間に通し、反対側のハンガーフックにかけます。
- ⑤すべてのストラップをハンガーフックにかけます。
- ⑥リフトを少しずつ上げ、上半身がリフトによって起上がった状態（お尻がマットレスから離れる前の状態）で一度止め、太ももの下および背中部分にしわやねじれがないことを確認してください。
- ⑦操作ハンドルを持って本体をベッドから離します。



△警告

!	お尻をしっかりとカバーできるように装着してください。お尻が落込んだ姿勢では、身体が抜落ちる危険性があります。
!	ストラップにねじれがないことを確認してください。ねじれがあると左右の長さが変わり、身体が傾いたり、太ももが圧迫されます。

△注意

!	本体を操作するときは、ブレーキは解除してください。手で身体を支えながら、吊り具がフックにしっかりとかかっているか、左右が均等になっているか、頭、上半身、脚が吊り具に乗っているか、吊り具にしわがないか（しわがあったら伸ばします。）など必ず確かめながら慎重に操作してください。
----------	--

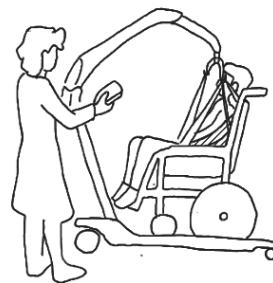
使用方法

●吊り具の降ろし方

- ①リフト本体を車椅子など乗換えるものに正面から近づけ、きちんと座れる位置に身体を移動させます。移動はゆっくりと行ってください。また、畳やじゅうたんなど柔らかい床面では、できるだけ車椅子など動かしやすい機器を動かしてください。



- ②手元スイッチを持ってそばにより、身体を支えながら下がるボタンを押して座らせます。

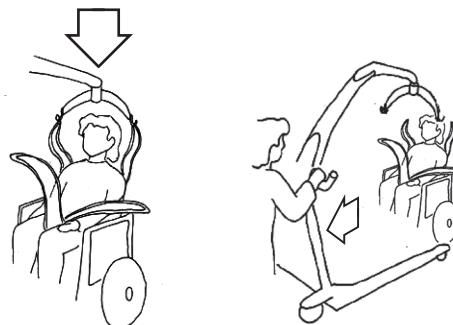


⚠ 注意



乗換える機器が動かないようにしてから行ってください。車椅子の場合には車椅子のブレーキをかけてから行ってください。

- ③吊り具がややゆるむ程度まで下げ、ハンガーから吊り具を外します。



使用方法

●車椅子に深く座る

姿勢が寝ている場合、次のような方法で深く座ることができます。

a 吊り具の取っ手を座るタイミングに合わせて上方に引きます。



b 座る直前に膝を下側に押すと、お尻が後方に振られます。



c 車椅子をリクライニングさせてから座らせます。



d 車椅子を傾けておき、下降とともに車椅子を水平まで戻します。



△ 注意



a、b、c の方法で座らせるときは、必ず車椅子などのブレーキをかけてください。

使用方法

●吊り具を外す

平らなベッドの場合および皮膚が弱くて床ずれを作りやすい方の場合は、装着と逆の手順で丁寧に外してください。背上げ機能のあるベッドおよび車椅子のときで、床ずれの心配がない場合は、次の方法で外します。

①脚ストラップを外し、上に引っぱります。



②背中から吊り具を引抜きます。(ご利用者の身体を前に傾けると引抜きやすくなります。)



日常のお手入れ

ご利用者の衛生管理のため、本製品を清潔に保つ必要があります。お手入れは、ご使用後または2～3日おきに行うことをおすすめします。また、お手入れされる時は使用前点検（本書10ページ参照）も行っていただくと、トラブルを防ぐこともでき、より安全にご使用いただけます。

お手入れ方法

●清掃

水で薄めた中性洗剤にタオルを浸し、固く絞って汚れを拭取ってください。

注意

	クレンザー、みがき粉などの洗剤は表面を傷つけるため使用しないでください。
	塩素系の洗剤は使用しないでください。塩素系の洗剤が付着したときは、十分に水洗いしてください。 …金属部分は錆びます。クッションなどは変色、劣化します。

●消毒

金属、プラスチック部分は、エタノールによる清拭消毒をおすすめします。

注意

	熱湯や高温スチームによる消毒はしないでください。
---	--------------------------

●保管

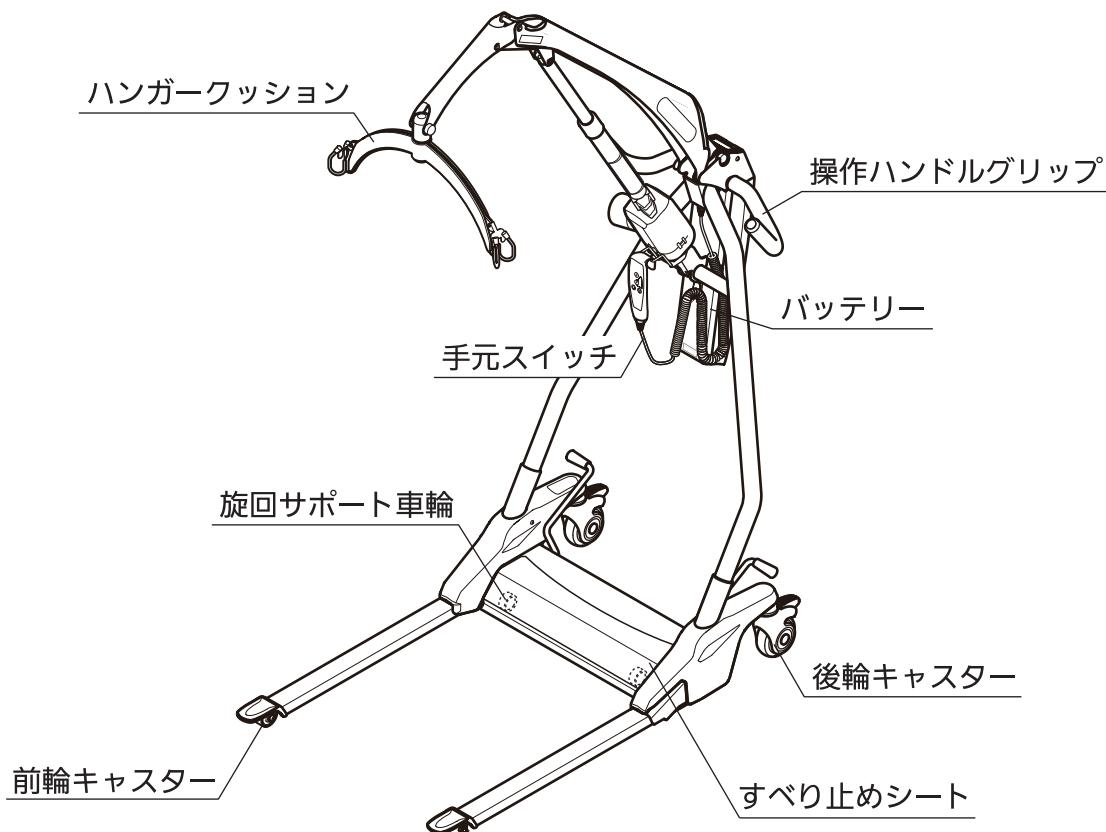
使用しないときは、直射日光を避けて風通しの良い場所に保管してください。

注意

	薬品の揮発成分や腐食性ガスが充満する環境での保管、使用はしないでください。
---	---------------------------------------

日常のお手入れ

消耗品の名称



消耗品の交換時期

消耗品が交換時期になっていないかご確認ください。

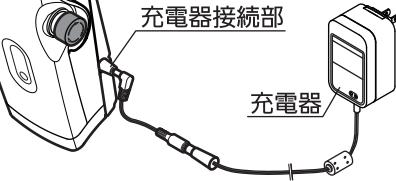
交換時期に該当するものは、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。

消耗品	交換時期	△ 注意
前輪・後輪キャスター	前輪・後輪キャスターのがたつきが大きくなったり、タイヤ表面にひびや劣化が現れたとき。	転倒、ケガの原因になります。
旋回サポート車輪	タイヤ表面にひびや劣化が現れたとき。	
操作ハンドルグリップ	劣化したとき。ひどく汚れてきたとき。	
ハンガークッション	劣化したとき。ひどく汚れてきたとき。	
すべり止めシート	劣化したとき。ひどく汚れてきたとき。	
手元スイッチ	昇降操作ができなくなったとき。	
バッテリー	充電後の使える回数が新品時の半分（満充電バッテリーでの昇降回数約20回）程度に低下したとき。	

トラブルシューティング

次のトラブル・原因以外の場合、または次の対処では解決しなかった場合は、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。トラブル解決までは、使用しないでください。

バッテリー・充電器

トラブル内容	主な原因	対処方法
充電後の使える回数が新品時の半分（満充電バッテリーでの昇降回数約20回）程度に低下した。	バッテリーの寿命。	バッテリーを新品に交換してください。
	緊急停止ボタンが押込まれている。 この状態では充電できず、充電器の「黄」のランプが点灯せず、「緑」のランプのみが点灯します。	押込まれている緊急停止ボタンを矢印の方向に回して、解除してください。 
充電したつもりが充電されていない。充電開始時に充電器の「黄」のランプが点灯しない。	本体または充電器の電気系統の故障。	充電器接続部で断線したり、充電器が破損するなど、電気系統が故障している可能性があります。ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。 
	充電の必要がないバッテリーを充電している。	充電の必要はありませんので、そのままご使用ください。
充電を開始するとすぐに充電器の「黄」のランプが消える。	バッテリーが劣化している。	充電する必要があるのに充電器の「黄」のランプがすぐに消える場合は、バッテリーが劣化している可能性があります。バッテリーを新品に交換してください。

トラブルシューティング

リフト

トラブル内容	主な原因	対処方法
アームを昇降すると異音がする。	アクチュエーターの故障、昇降機構の摩耗。	使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。
アームの昇降、ベースの開閉ができない。	緊急停止ボタンが押込まれている。 本体に充電器がつながっている。	<p>押込まれている緊急停止ボタンを矢印の方向に回して、解除してください。</p>  <p>本体の充電器接続部から充電器を外してください。 充電していなくても充電器の残電力により本体が充電中であると判断して昇降できなくなることがあります。</p> 
バッテリー残量がない。 バッテリーが完全に放電している。	ケーブルが抜けている。	ケーブルをしっかりと奥まで差込んでください。
本体スイッチの故障。	手元スイッチの故障。	手元スイッチを操作しても昇降できず、本体スイッチで動く場合は、手元スイッチが故障している場合があります。 ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。
電気系統の故障。	手元スイッチ、本体スイッチを操作しても昇降できず、非常降下スイッチで下降できる場合は、電気系統が故障している場合があります。	手元スイッチ、本体スイッチを操作しても昇降できず、非常降下スイッチで下降できる場合は、電気系統が故障している場合があります。 ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。

トラブルシューティング

トラブル内容	主な原因	対処方法
吊上げて一番上まで上昇させた時だけ、「ピー・ピー」とブザー音が鳴る。	アーム上昇の勢いと、本体構造部のたわみなどにより、上端で停止したときの揺れが大きくなることで、本体が過電流を検出した。	「ピー・ピー」とブザー音が鳴ることがありますがご使用上の問題はありません。
動作中に逆方向の操作をしたとき、「ピー・ピー」とブザー音が鳴る。	逆方向への操作を急に行つたことで、電気系統に過大な負荷がかかったことを本体が検出した。	ご使用になますが、電気系統の故障原因になりますので、逆方向への急な操作はしないでください。
複数のボタン操作をしたとき、「ピー・ピー」とブザー音が鳴る。	複数のボタン操作を行つたことで、電気系統に過大な負荷がかかったことを本体が検出した。	ご使用になますが、電気系統の故障原因になりますので、複数のボタンを同時に操作しないでください。
動作中にケーブルを抜差しすると「ピー・ピー」とブザー音が鳴る。	抜差しを行つたことで、電気系統に過大な負荷がかかったことを本体が検出した。	ご使用になますが、ケーブルの接触不良など電気系統の故障原因になりますので、ケーブルはしっかりと奥まで差込んでご使用ください。
下降中にハンガーやアームをはさみ込んで停止したとき、停止した原因を解除くと「ピー・ピー」とブザー音が鳴る。	手元スイッチまたは本体スイッチでの操作を行ひながらはさみ込みを取除いたことにより、電気系統に過大な負荷がかかったことを本体が検出した。	下降中にはさみ込みが発生して停止した場合は、手元スイッチまたは本体スイッチでの操作を直ちに止め、はさみ込みを取除いた後に安全を確認したうえで手元スイッチまたは本体スイッチでの昇降を再開してください。
上記に該当しないが、昇降途中にブザー音が鳴る。	「ピー・ピー」または「ピー」とブザー音が鳴る場合。本体スイッチまたは手元スイッチを押す力が足りず、不安定な信号を本体が検出した。	ブザー音が鳴ることがありますが、使用上の問題はありません。本体スイッチまたは手元スイッチをしっかりと押してご使用ください。
	「ピー・ピー」とブザー音が鳴る場合。本製品の最大持上げ質量は120kgです。120kgを超える方には使用しないでください。	本製品の最大持上げ質量は120kgです。120kgを超える方には使用しないでください。
	「ピー」とブザー音が鳴る場合。バッテリー残量がない。	バッテリーを充電してください。
本体が移動できない。	ブレーキがかかっている。	ブレーキを解除してください。
ブレーキがかからない。	後輪キャスターの故障。	使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。
キャスターがたつく。	前輪・後輪キャスターの故障、劣化。	使用を中止し、ご購入先または弊社各営業所までご連絡ください。

ご使用期間とアフターサービスについて

ご使用期間について

本製品は、標準的な使用環境と使用条件下で、取扱説明書にしたがって正しく使用した場合の
※注1 標準使用期間を8年と定めています。この期間を超えて使用されると、機能部品はもとより主
要構造材も、経年劣化により破損する恐れが出てきます。使用期間が8年を超えた製品につい
ては、弊社同等製品への買替えをおすすめしますが、引続いての使用をご希望される場合は、
必ず弊社各営業所にご連絡のうえオーバーホールを受けてから使用してください。
※注2 注3 詳細につきましては弊社各営業所までお問合せください。

注1：標準使用期間と保証書に記された無償修理の保証期間とは異なるものです。

注2：オーバーホールは、その後の無償修理の保証を約束するものではありません。

注3：お客様の強いご希望で、使用期間終了後オーバーホールを受けずに本製品を使用される
場合は、本製品を使用中に発生した、いかなる不具合ならびに事故に対して、弊社は
その責任を負いかねます。

ご使用期間とアフターサービスについて

修理を依頼されるときは

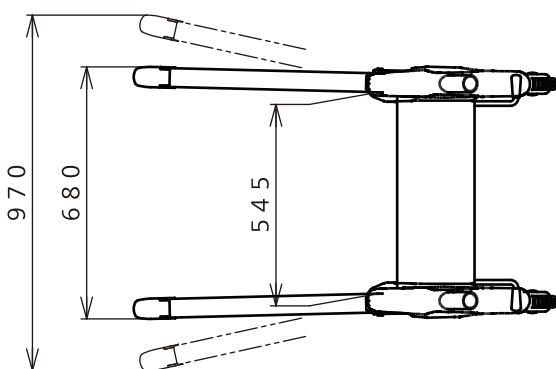
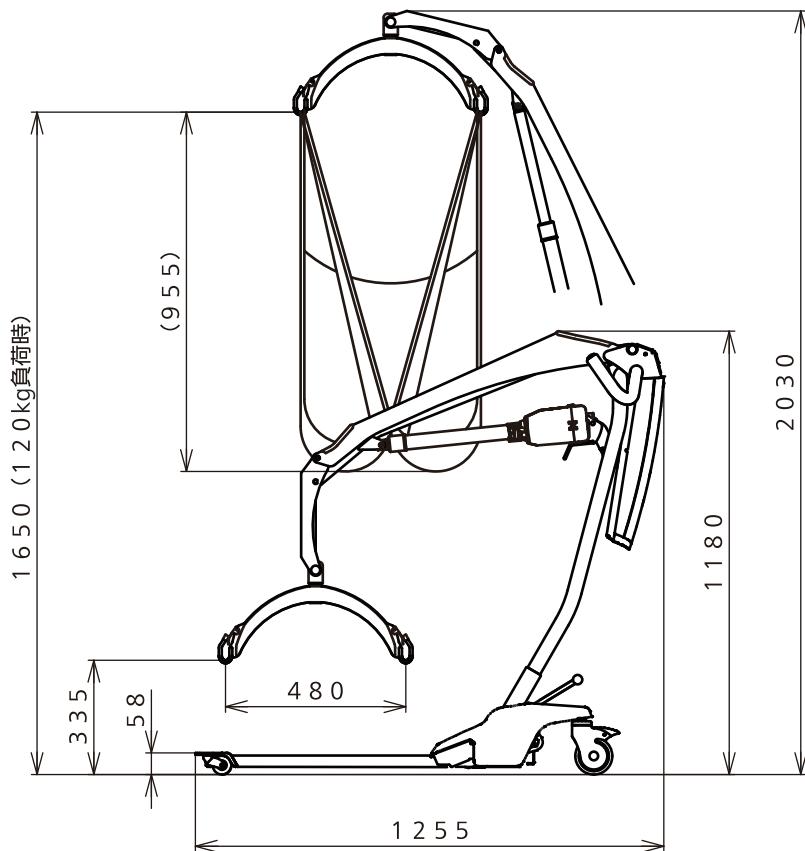
修理を依頼される前に取扱説明書をよくお読みになり、再度ご点検のうえ、なお異常がある場合、ご購入先または記載の弊社各営業所までご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

ご住所・ご氏名・電話番号

商品名・型番・製造番号・ご購入先・お買い上げ日

故障、または異常の内容（できるだけ詳しくお願ひいたします。）



奥行	1255 mm
全幅	680~970 mm
全高	1180~2030 mm
脚部高さ	58 mm
吊上げ高さ（ハンガーフック部）	335~1650 mm (120kg 負荷時)
上昇時間	約50秒 (120kg 負荷時)
下降時間	約40秒 (120kg 負荷時)
重量	49kg
最大持上げ質量	120kg

●キャスター径 / 前輪50mm・後輪100mm

主要材質 / スチール

バッテリー仕様 (24V・2.9Ah)

フル充電約12時間 / 90kg 負荷で約20回動作可 (2回アーム昇降+1回ベース開閉)

＜見本＞

保証書

商品名

移動式リフト

型番

EL-580

本書は、本書記載の内容で無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、販売店に修理をご依頼ください。保証期間は、お買上げ後1ヵ年です。

〈無償修理規定〉

1. 保証期間中に取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった「正常な使用状態」において故障した場合には、無償修理をいたします。ただし、交換時期となった取扱説明書記載の消耗品・交換部品は除きます。
2. 保証期間内でも次の場合は有償修理になります。
 - (1) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (2) お買上げ後の落下などによる故障および損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災、地変、異常電圧による故障および損傷
 - (4) 取扱説明書内に記載された使用目的以外に使用された場合の故障および損傷
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
4. 本製品は、日本国内専用の仕様となっており、日本国外では使用できません。したがって、万が一、本製品を日本国外で使用された場合、本製品の故障および本製品の使用に伴って発生した損害に対して、弊社はその責任を負いません。

※ 弊社は、弊社または販売店から直接、本製品をご購入いただいた第1次ご購入者であるお客様に對してのみ、この保証書に基づく責任を負うものとします。第1次ご購入者様からの転売などにより本製品を保有されるお客様に對しては、この保証書に基づく責任を含め、一切の責任を負いません。

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間終了後の修理についてご不明な場合は、販売店にお問合せください。

※ 保証期間終了後の修理については、取扱説明書内“ご使用期間とアフターサービスについて”をご覧ください。

製造元：株式会社イウラ

本社・松山支店：〒791-0214 愛媛県東温市南野田410番地6

TEL 089 (964) 7770 FAX 089 (964) 1522

URL <https://www.iura.co.jp>

※以下の項目は必ずご記入ください。

お客様	販売店
ご住所	-
お電話	- -
お名前	様
お買上げ年月日	年 月 日



株式会社 イラウ

本社・松山支店 〒791-0214 愛媛県東温市南野田 410 番地 6
TEL089(964)7770 FAX089(964)1522

東京支店 〒174-0063 東京都板橋区前野町 2 丁目 30-24
TEL03(5939)8611 FAX03(5939)8612

札幌営業所 〒007-0834 北海道札幌市東区北 34 条東 26 丁目 2-18
TEL011(788)5334 FAX011(788)5341

仙台営業所 〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町 7 丁目 1-18
TEL022(781)6715 FAX022(781)6796

北関東営業所 〒371-0801 群馬県前橋市文京町 4 丁目 20-17
TEL027(212)2066 FAX027(212)2067

名古屋営業所 〒485-0012 愛知県小牧市小牧原新田 1660-3-D
TEL0568(42)6015 FAX0568(71)9656

大阪営業所 〒564-0002 大阪府吹田市岸部中 4 丁目 8-30
TEL06(4860)6601 FAX06(4860)6602

福岡営業所 〒839-0841 福岡県久留米市御井旗崎 4 丁目 4-42
TEL0942(45)3808 FAX0942(45)3809

URL <https://www.iura.co.jp>